

【第5章】計画を推進するために

1 みんなですすめるまちづくり

施策の展開方向

- 市民と行政が一体となって鹿島のまちづくりを考えていくために、情報の共有化を図り、誰もがまちづくりに参加できるシステムづくりをすすめます。
- 地域コミュニティなどの、人と人とのつながりの中から生まれる創意工夫の活動に、行政が持つノウハウや情報などを提供することで、地域の主体的なまちづくりを支援します。
- 市民の利便性やコストなどを考慮し、インターネットを利用した行政手続きが行える仕組みを検討します。
- これまでの地域間交流を大切にしながら、本市と歴史的なつながりを持つ地域との新たな交流をすすめていきます。また、イベントや各種大会を通じて交流人口の拡大につなげていきます。
- 本市出身者やゆかりのある人とのつながりを大切にし、情報発信などを行うことでふるさとの広告塔・応援者となつてもらう仕組みづくりを検討します。
- 男女共同参画社会の実現を目指し、意識づくりの普及・啓発活動に取り組みます。



日韓こども交流事業（大西初等学校との交流）



市制60周年記念イベント

主要施策

- 1 鹿島市ホームページや市報の充実
- 2 情報の内容に応じた最適な広報手段の選択
- 3 ケーブルテレビ網の有効活用
- 4 市民政策提案やパブリックコメント※など広聴機能の充実
- 5 各種委員会・審議会などへの市民参加の促進
- 6 CSO※活動に対する支援・相談体制の充実
- 7 適切な公文書管理の徹底
- 8 個人番号カードやインターネットを活用した各種行政手続きの利便性の向上
- 9 交流人口拡大の推進
 - ①各種イベントの開催支援
 - ②韓国高興郡、釜山外国語大学校との交流の推進
 - ③千葉県香取市との交流の推進
- 10 鹿島を応援してくれる人への情報発信、ふるさと納税の推進
- 11 地方への移住を考えている人への情報発信
- 12 男女共同参画基本計画①に基づく男女共同参画社会づくりの推進

目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

(目標値年度は平成32年度)

	施策名	目標・指標等
12	男女共同参画基本計画①に基づく男女共同参画社会づくりの推進	各種委員会・協議会の委員や職員の役職者の女性の割合30%を目標とする 平成31年までに実現



記者会見のようす

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。

2 行財政運営

施策の展開方向

- 多様化する市民のニーズに対応できる職員の育成に取り組みます。
- 社会情勢の変化に対応し、限りある人と予算の効率化を高めるために必要な組織の見直しを行います。
- 業務委託や指定管理者制度の活用を図りながら、事務の効率化とサービスの向上に努めます。
- 社会経済情勢や地方財政制度の変化に柔軟に対応しつつ、財源の確保や市債の適正管理など、各種財政指標を見据えた健全な財政運営に努めます。
- 公平・適正な課税と収納率の向上により税収の確保を図ります。
- 広域連携の充実を図ります。

主要施策

- 1 時代に即した人事管理
 - ①適正な定員管理
 - ②職員研修の充実
 - ③人事評価の活用
- 2 第三次行財政改革大綱^①の着実な推進
- 3 適正な課税対象の把握と徴収体制の強化
- 4 公共施設等総合管理計画[※]の策定による公共施設の維持管理経費等の適正化
- 5 広域連携による事務共同化の推進

目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

(目標値年度は平成32年度)

	施策名	目標・指標等
4	公共施設等総合管理計画 [※] の策定による公共施設の維持管理経費等の適正化	公共施設等総合管理計画の策定 平成28年度策定

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。